

令和 8 年

## 第 2 回教育委員会会議録

(開会 令和 8 年 2 月 20 日)

(閉会 令和 8 年 2 月 20 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和8年2月20日午後2時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

### 出席委員

堀部好彦君（教育長）

梶田知靖君（教育委員）

瀬川登美子君（教育委員）

### 欠席委員

小栗照代君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

### 説明のために出席した者

水野伸治君（事務局長）

下園芳明君（教育総務課長）

木村正男君（学校教育課長）

後藤道広君（学校給食センター所長）

奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）

石黒智子君（教育研究所主任指導主事）

古野 寿君（学校教育課指導主事）

青木裕介君（教育研究所指導主事）

只腰知子君（学校教育課学校支援係長）

牛江明美君（子育て支援課専門対策監）

森川賢彦君（子育て支援課子育て応援係長）

### 出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

### 日程及び審議結果

1 開 会

2 前回、前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①報告第2号 可児市教育委員会事務局職員の人事異動について（原案承認）

②議案第2号 可児市いじめ防止基本方針の改定について（原案可決）

③議案第3号 教育に関する予算の意見について（令和8年度可児市一般会計予算）  
（原案可決）

④議案第4号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正  
予算（第7号））（原案可決）

⑤議案第5号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 報告事項

・いじめ相談受付状況について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

### 開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） よろしくお願ひします。  
これから令和 8 年第 2 回の教育委員会会議を開催させていただきます。  
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりよろしくお願ひします。

### 前回、前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） 前回、前々回の会議録の承認について。
- 教育総務課長（下園芳明君） 前回、前々回の会議録に変更はございません。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということで、よろしくお願ひします。

### 教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、教育長報告でございますが、簡単に 2 点お願ひをします。

このたび桜ヶ丘小学校で感謝の会が行われました。新聞にも掲載されましたので、もしかしたら新聞をお読みになったかもしれせんけれども、校舎の長寿命化改良工事に関わった方々をお招きして、桜ヶ丘小学校の子供たちが感謝の気持ちを表す、そんな会が行われたということで、こういった会を子供たちの声をきっかけにして企画した桜ヶ丘小学校の教師の心意気というか思いが、大変子供たちの思いも含めてうれしく思っています。

また、新聞記事にも掲載された請負業者の代表の方の言葉、この校舎にはたくさんの人の技術と思いが詰まっている。皆さんが大切に使うことが、私たちにとっての一番のプレゼントと言って、本当に深い、心に届く子供たちが印象に残る言葉ではなかったかなと思っています。

こういった教育総務課職員が中心になってやっているこの取組が、教育になっているんですね。単に箱物を造っている、箱物を造りましたよということではなくて、この営みを教育として活用している。本当にすばらしいなと思います。

ちなみに写真がご紹介できなくて申し訳ないのですが、新聞に掲載された写真に、一番大きく写っていたのが教育総務課長の下園課長でございます。工事担当職員の重本とそれから下園課長がこの感謝の会の後、花束を頂いてね。花束とそれから子供たちのメッセージの冊子を持って教育長室に来てくれて、こんなことがありましたと 2 人そろって来てくれて、うれしそうに来てくれたんだけど、いい交流だな、営みだなということで、桜ヶ丘小学校や業者の方々に感謝申し上げます。これが 1 点目です。

2 点目ですが、以前も瀬川委員とお話をした可児市の小中美術展・特別支援学級作品展のことです。

瀬川委員は、美術展での子供たちの作品の作品自体というか作品に込められた思い、そこに目を向けた御発言がありましたけれども、私も全く同感で、そのことをこの生徒の絵でも感じましたので、時間があればこれについてじっくりお話をしたいところです

が、今日はちょっと割愛させていただきますけれども、この子の精神性の深さというか、外国籍の生徒なんですけれども、このように生と死を見詰めているんだということで、こんな育ちをしている外国籍の生徒がいるということを私は本当にうれしく思っておりますので、配付した資料をまたじっくり読んでいただくとありがたいです。

私からは以上でございます。

### 教育委員報告

○ 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員報告に入ります。

○ 教育委員（梶田知靖君） お願いします。

私からは、蘇南中学校に昨日訪問してきました。

こちらの缶コーヒーを見ていただきたいのですが、土俵際の底力と書いてあるんですけど、今年のPTA本部役員の方が、佐野校長が子供たちの力をつけるということをやっとおっしゃってみえて、その役員の方がこの缶コーヒーを見て、ぜひ校長にということでプレゼントされたそうなんです。校長もいただいて、これが売っているところを教えてくださいまして箱買いされたそうなんですけど、これを頂いてきました。

○ 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。

直接校長先生といつもお話をさせていただいて、感謝申し上げます。

底力の缶コーヒーですが、校長、うれしかったでしょうね。蘇南中学校の校長は、「笑顔の“もと”」、可児市が掲げている理念の「笑顔の“もと”」について、校長は力であると、力をつけるということ、これを「笑顔の“もと”」にしたいと。じゃあどんな力をつけるのかということについて教師や子供たちに投げかけをして、その力を未来の笑顔につながるものにしていきたいという向き合いで尽力をされている。そういった経営をしておられるリーダーの校長が、保護者からそんな缶コーヒーをもらえて大変うれしかったような、自分の理念、自分の言っていることがこのように心に届いているんだという、保護者へね、これはうれしいことだろうなと思います。ありがとうございます。

○ 教育委員（瀬川登美子君） よろしくをお願いします。

可児市学校給食センター運営委員会に出席させていただきました。会長職ということで、進めさせていただいたんですけれども、報告事項としては給食の無償化についてだとかいろいろあるんですけれども、まず出席された堀田校長から、ふだんお召し上がっていらっしゃるからの御意見だと思いますけれども、お肉とか高騰しているのにもかかわらず、同じ値段で提供されているというのが大変じゃないかと、そういうこともおっしゃっておられましたし、やっぱり高いお肉、牛だとかというもの、その割合は少ないでしょうかとか、ちょっと面白いかなと思いついて聞いていたんですけれども、御意見をお伺いしてきました。

また、水野事務局長が御挨拶のときに言われたんですけれども、ちょうどその日が蜂蜜ソースカツという献立、まなびの献立の日だったんですけれども、召し上がられたそうで、おいしかったですよとおっしゃっていたんです。ちょうど朝、我が家でもその蜂蜜ソースカツのことが話題になっていて、どんな味だろうねとか、何で蜂蜜を入れるんだろうねとか、ちょうど言っていたんです。ちょうど話題にうちでもなっていたところ

でそのお話だったものですから、可児で採れた蜂蜜をということできっとこういう献立を考えられてしているんじゃないかということも踏まえて、子供が家へ帰ってきてからどうだったのということを家で聞いたんです。そしたら、甘みの質がちょっと違うかなということも言っていました。普通のお砂糖の甘みでなくて、ちょっと風味も違うしということも言っていたので。ちょっと、何ていうんでしょう、複雑になるのかなど。結構、食のことは食育としてとっても大切だなとふだんから思っているんですけども、やっぱりお昼はおいしく、みんなが食することがやっぱりベストだと思うんですけども、残量調査だとかそういう結果を踏まえてこうやって、よりよく食生活が送られるように御協力してくださっている方、いろいろ考えてくださっている方がいらっしゃるんだなと思ったら、やっぱり本当に給食というシステムは、本当に保護者として感謝すべきシステムで、本当にすばらしいことだなと思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

瀬川委員、就任以来、積極的にいろんなところへ出向かれて、不登校対策についてもスマイリングルームに出向かれて学んでいただいて、そして今回は充て職というお役で給食センターの運営委員会にも参加していただいている。司会もそうですね。お疲れさまです。そういう立場で可児市の給食、そして食育について学んでくださり、そしていろんな御意見を言うてくださることは大変ありがたいです。

私も可児市のまず毎日8,000食、9,000食を配給している給食センターのシステム、それから業者の方々、それから給食センターの職員の方々の努力というのは本当にすごいなと思っています。本当に私も日々感謝です。

加えて、食育のすばらしさもいろいろ感じていて、これでまた話し出すと止まらないぐらいあるんですけど、また食育のすばらしさということを瀬川委員なりにまたつかまれているいろいろ広めていただくとありがたいと思います。加えて、国が言っている給食費の無償化、これについて可児市としてどう考えているのかということについても、またこういうところで話題にしながら、保護者、市民に広まるようにということも思っておりますので、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

## 議事

○ **教育長（堀部好彦君）** では、議事に入ります。

○ **事務局長（水野伸治君）** 改めまして、こんにちは。本日はよろしくお願ひします。それでは、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページですね、目次のとおり報告が1件、議案が4件でございます。

報告第2号 可児市教育委員会事務局職員の人事異動について、議案第2号 可児市いじめ防止基本方針の改定について、議案第3号 教育に関する予算の意見について（令和8年度可児市一般会計予算）、議案第4号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正予算（第7号））、議案第5号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上5件についてよろしくお願ひいたします。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本日議事の議案第3号 教育に関する予算の意見について（令和8年度可児市一般会計予算）、議案第4号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正予算（第7号））、議案第5号 要保護及び準要保護

児童生徒の認定について、その他の不登校児童生徒の状況について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、意思形成に関わる案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開としたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの案件については非公開とします。

それでは、報告第2号 可児市教育委員会事務局職員の人事異動についてを議題といたします。

○ **教育総務課長（下園芳明君）** よろしくお願ひします。

報告第2号 可児市教育委員会事務局職員の人事異動について。

可児市教育委員会事務局職員の人事異動について、次のとおり専決処分をしたので、これを報告し、承認を求め。令和8年2月20日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和8年2月2日専決、可児市教育長 堀部好彦。

記、可児市教育委員会事務局の人事異動を次のとおりとする。

1. 異動者の内訳数、主任級1名。
2. 異動内容。

別紙のとおりと書いてあります。

別紙1が用意してありますので、そちらのほうを御覧ください。

2月16日付で下の表のとおりの異動がありました。学校教育課になりますが、事務が多忙であり人手が不足となっていることから、人事辞令が発令されたところです。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

それでは、この件については御承知おきください。

続いて、議案第2号 可児市いじめ防止基本方針の改定についてを議題とします。

○ **学校教育課長（木村正男君）** では、よろしくお願ひいたします。

議案書の2ページを御覧ください。

議案第2号 可児市いじめ防止基本方針の改定について。

可児市いじめ防止基本方針を別紙のとおりに改定する。令和8年2月20日提出、可児市教育長 堀部好彦。

別紙2の議案第2号関係資料を御覧ください。

主な改正内容の新旧対照表等を載せております。事前に送付させていただいており、また、昨月の教育政策会議でも内容について御説明させていただいたところです。政策会議から、特に改定内容に変更はございませんので、よろしくお願ひいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御意見、御質問等ありません

すでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

特にないようでございますので、この件については原案のとおり可決します。

### 報告事項

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、報告事項、いじめ相談受付状況についてを議題とします。

○ **子育て支援課専門対策監（牛江明美君）** よろしくお願ひいたします。

可児市いじめ防止専門委員会事務局を担当しております牛江と申します。令和7年度いじめ等に関する相談の状況について説明させていただきます。

別紙5のほうをお願いいたします。

初めに、皆さん御存じかと思いますが、いじめ防止専門委員会は、通報や相談があったいじめの解決を図るため必要な調査、審査、関係者との調整、また関係者への助言、支援などを行っている市長部局の機関です。

資料別紙5の3ページのほうにあるいじめの相談受付状況の表に沿って、令和7年度4月から1月までの受付状況についてお話しさせていただきます。

上の表の経路別資料では、左の問題別はいじめとその他に区分しています。一番右の欄にあるように、1月末現在で対応しているケースは、本年度いじめのケースが22件、その他いじめの前段階のケースが3件、そして下の段の括弧書きにあります前年度からの継続のいじめのケースが14件、その他、いじめの前段階のケースが14件、その他1件で合計54件のケースに対応しております。

経路別の内訳の母親からの相談10件、子供本人からの相談は7件でした。保護者からの相談の中には、今年度初めてだったんですけれども、可児市在住の共和中学校の生徒のお母さんからの相談がありました。可児市の教育委員会から御嵩町の教育委員会につながっていただいて、現在も対応、見守りをしているケースもあります。

また、保護者のその他というところに2件あるんですけれども、これは、自分の子供ではないが周りの保護者からの情報などで、隣のクラスの子の行動が気になるから相談をしたという案件が2件ありました。

このようなことから、いじめへの関心度の高さを感じました。

下の表に行きます。

種類別・年齢別資料を御覧ください。

種類別としては、いじめが28件、その他3件、合計31件の受付をしました。

いじめの受付は、物理的ないじめとして暴力が9件、嫌なことをされるなどが5件、心理的いじめとして、悪口・からかいが9件、仲間外れ・無視が5件となっています。その下のその他の欄では、いじめ以外の相談で3件がいじめの前段階ということで、いじめとしては認知されていないが、いじめになり得る可能性が高い事案として挙げております。

年齢別の内訳では、その他事案を含めると、中学2年生が6件、小学6年生が5件となっています。今年度の特徴として、16歳以上の相談が4件ありました。高校生の相談場所が分からないということで、県の教育委員会の窓口や可茂教育事務所の高校担当の

先生に教えていただいた県の教育支援センターのGープレイス可茂などを紹介したケースもありました。

別紙資料に戻っていただきまして、主な事案内容としては資料のとおりです。本人からの手紙の相談は4件ありました。学校では話してほしくないと書かれていましたが、暴力的行為がある場合は、本人に知られないように見守りを学校にお願いしたり、専門委員の方のアドバイスによって学校に知らせたほうがいい案件については情報共有をさせていただいたりもしました。ただ、手紙や返事を欲しいという案件については、学校につなげられるような内容のお手紙を出して、本人から学校に知らせていいよというお返事を待っているところなんですけれども、返事がなかなか返ってこないこともあって、事務局としては動きができないという案件もあります。様子を見守っている案件です。何とか学校につなげていけるようにしたいと考えているところです。

2ページになります。

学校と当委員会との共有ケースについてお話しさせていただきます。

共有ケースの内容としては資料のとおりです。いじめが起きたとき、関わった子の特性が関係するものも多くあり、感情のコントロールが改善されず、関係する児童・生徒の見守りが必要ではないかということで、今年度はいじめ防止専門委員会として学校からの相談4件、学校との共有ケース、前段階も含めて7件受け付けました。

この7件を加害児童・生徒をケースに取り上げて、継続した見守りをしていきたいという思いを持って取り組んでいます。このようなことから、学校の先生方が困り感のある児童・生徒の様子を早めにキャッチしていただいていることで、学校全体での見守りと丁寧な対応をしてくださっていることも感じております。

3番に行きます。

事務局による定期学校訪問及び委員の訪問については、資料のとおりです。各学校の定期学校訪問に委員が同行し、授業の様子の参観や意見交換、助言などをさせていただきました。また、学校のほうから、いじめ案件について専門委員さんの意見が聞きたいということで、臨時で学校訪問に伺わせてもらったり、委員会事務局が間に入りメールでのアドバイスをいただいたりして、学校にフィードバックした案件もありました。

次に4番、子供からの相談促進について。

資料のとおり配布依頼をさせていただいて、学校からも子供たちにいじめについての指導や声かけがされていることに、大変ありがたく感じております。今年度は、共和中学校からの相談もあったこともあり、今後は、可児市在住の共和中学校の生徒にも、御嵩町教育委員会に配布のお願いをするなど啓発していけたらいいなということも思っております。

5番になります。

令和7年度いじめ防止の広報・啓発活動についてということで、4ページにあるように、専門委員による講話を学校、PTA、家庭教育学級に案内しております。今年度は、西可児中学校で教職員向けいじめ防止授業を弁護士に講話をいただいた上で、岐阜県弁護士会による各学年のいじめ防止授業を行っていただきました。

また来年度の紹介もしておりますので、御活用いただければと思います。

今後も教育委員会や学校の協力を得ながら対応してまいりたいと考えておりますので、

よろしく申し上げます。

簡単ではありますが、いじめ相談受付状況の報告を終わります。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明につきまして、御意見等ありますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

では私から、お礼やらお願いとか思っていることなんですけれども、その点、本当に今年度の専門委員会の方々の御努力で、今ざっとお聞きしたり資料を見たりするだけでも、本当に学校は助かっているだろうなと思っています。まずもってこの共和中学校の生徒の親さんからの相談だとか、それから保護者でもないんだけど周りの保護者からの相談だとか、それから16歳以上の方の相談ということで、いじめが見過ごされない体制づくりに本当に専門委員会の方々が寄与されているなということを感じています。こういった地道な御努力が市民に広がっているから、こんな相談が、こういった方々の相談まであるんだろうなということ、すばらしいなと思っています。

また、最近のいじめの傾向の特徴の一つとして、発達の特性が背景にあると思われる事案が増えてきているというのは全く同感でありまして、これは大きな可児市の課題だと思っています。特別支援教育という言葉があるんですけれども、発達の特性を理解して、その子に合った支援をしていくというために、この特別支援教育があるわけなんですけれども、特別支援学級に在籍しての担当の先生方がやるものが特別支援教育だよではないんだという認識を私たちは改めて持たなければいけないなど。どの先生も特別支援教育の知見を持って勉強してもって子供たちの支援に当たれる、そんな体制をしいていくことが私どもの教育委員会の役目のうちのひとつだと感じております。いじめの未然防止だとか初期対応において、この特別支援教育の知見を生かしていくことが子供たちを守っていくことにつながるんだなということを思っておりますので、ぜひそういった学校のニーズもきっとあるのではないかと。特別支援教育をいじめ防止にどう役立てていくのかという、その辺りの研修が、これもまだしっかり読めていないんですけれども、もしあればなんていうことも思っております。

ただ、本当にいじめの対応をきめ細かくやっていただいていることにプラス研修についても骨折りいただいて、感謝でございます。本当にありがとうございます。

私はそのように思いましたけれども、どうですか。よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございます。

特にないようですので、この件については御報告のとおりよろしく願いいたします。ありがとうございました。

#### 各課所管事項

○ **教育長（堀部好彦君）** 続いて各課所管事項です。

○ **事務局長（水野伸治君）** 私からは、可児市議会の令和8年第1回定例会が始まりますので、御案内させていただきたいと思います。

週明けから2月24日に開会いたしまして、3月23日まで28日間の会期で開催される予定です。

本日の議案にもございますが、第3号、第4号の予算は、こちらの案を議会のほうに上程する予定でございます。

また、一般質問も3月4日、5日にもございますが、教育委員会に対する一般質問もございますので、その内容については次回3月の会議で御報告をさせていただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（下園芳明君）** 私からは、報告と案内それぞれ1件ずつです。

まず報告のほうですが、先ほど教育長のほうからもお話の中でしていただきましたけれども、先週2月13日の金曜日に桜ヶ丘小学校において、工事関係者の方への感謝の会という名目で施工下請業者11名に加え、事務局のほうから工事担当者と私2名が呼ばれて、会のほう参加させていただきました。

体育館のほうでイベントが行われました後、おのこの教室に入って給食をいただきながら、質問コーナー等もありました。学校がきれいになるとはいえ、工事に伴う教室の移動、総合して先生方も児童の皆さんも苦労したことと思います。それでも、工事関係者と良好な関係を保ってこのような会を開いていただいたことはとても喜ばしい出来事で、工事関係者の方も大変喜んでみえました。

きっかけは、国語のインタビューをする授業があったそうで、児童が工事関係者の方にインタビューをしたことだったそうなんですけれども、児童会の取材だったということも、すごく喜ばしく感じております。

また、校長先生からは、工事をしている方々の働く姿を間近に見て、キャリア教育の推進に役に立ったとも言われました。工事中というのは学校にとってマイナスのイメージしかないと考えていましたが、よくぞプラスに変えていただいたなと感じております。

学校から帰る際に擦れ違った子供たちが、工事の人だと話しかけてきまして、校舎を大切にします、掃除をしっかりとしますと言ってくれました。工事をする中で、物を作る楽しさや物を大切にすること、掃除をしっかりとすることを学んでくれたと感じております。新しくなった校舎を大切に使うてもらえるなど確信した次第です。

2点目、2点目は案内になりますが、お手元に置いてありますが、先日、小・中学校の卒業式の告辞のお願いをさせていただいているところです。

中学校が3月6日金曜日、小学校が3月25日水曜日に予定されております。お忙しい中、恐れ入りますが、よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（木村正男君）** お願いします。

1月から入ってきたときに、まだインフルエンザはまだ継続して出ておりますので、なるべく終息していくように感染拡大しないように留意をして伝えているところです。ただ、一方では、学校において寒い日が続いているんですけれども、様々な体験活動なども広がっていきまして、例えば外で元気に大縄跳びでチャレンジする子供たちもいますし、茶道体験、豆腐作りなど様々な活動を楽しんでいるところも見受けられます。

一方、6年生は中学校生活に向けた半日入学も先日行っております。さらには、中学

校3年生は合唱の披露を、その体験学習の中で中学校3年生の合唱の披露を見て、その迫りに圧倒される思いになった児童も多くいたと聞いております。

また、ある中学校では、独り立ちを考える日として、一日中校内で何をしてもいいよという日を設けている学校もありました。その中で、自分で自分の時間をコントロールすることや、相手を意識して生活するという大事さを体験しているという話も聞いておりまして、様々な活動が広がっているところです。

一転、2月17日ですが、各小・中学校の国際教室を指導している担当者を集める担当者会がございました。その中で話題になったことですが、今年度から、ばら教室というものがあって日本語指導している教室があるんですが、ばら教室で日本語指導を受けている子供たちが、ばら教室に行きながらも月に何回かは在籍している学校へ登校するという日があるんですが、この登校日を増やすようにしてきています。随分効果が上がっていきまして、在籍学校に行く前に、もう行き先の学校の子供たちとの関係ができて、非常に歓迎される雰囲気の中で入学していくとか、その学校に入っていくということができていますので、とてもいい動きだなと思っていますところです。

継続して外国にルーツのある子供たちがまだまだ可児市は増えている現状もありますので、過ごしやすい環境を保てるように今後も継続して見ていきたいと思っています。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** 研究所よりの資料がございますので、御覧ください。

1 ページの1番の研究・研修についてです。

最後の可児市の初任者研修も27人全員が参加することができました。最後の講座では、メンタルヘルスについてとグループ討議の内容について、写真のように熱心に取り組む姿が見られています。

グループ討議では、初任者の中で授業形態に大きな変容があった先生に、インタビュー形式で実践について語ってもらいました。ほかの初任者が目を輝かせて聞いていたのが印象的でした。

その後のグループ討議では、自己を見詰めるテーマで実施しました。

講話などの感想を①②にお示ししています。

③に1年間の振り返りについて紹介しています。

先輩の先生方の授業から授業スタイルの確立につながることで、たくさんの先生に助けてもらったことなどの感想が多く見られました。勤務校のサポートが不可欠であったことが強調されていて、本年度も初任者の成長は可児市の学校の同僚性の高さのおかげということが分かりました。

2 ページの2番、教育支援センターについて示しています。

スマイリングルームの活動については3ページに載せております。

2月に開催しましたスマイリングルームの教育支援センターの運営委員会で、スタッフや学校からのアンケートを基に次年度の方向性を確認しました。

3番では、今年度の教育実践論文について示しています。

今年度は29人の応募があり、幅広い年齢層からの論文が集まりました。教育研究に対

する高い意識と児童・生徒の成長を願うという強い思いが感じられる論文が多数見受けられました。表彰式は3月に開催する予定です。

以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校給食センター所長（後藤道広君）** 給食センターから2点報告させていただきます。

1点目ですが、先月1月26日から30日までの5日間は、学校給食週間として、岐阜の郷土料理や岐阜県産・可児市産の食材を使用した特別献立を提供しました。そのうち28日が、がんばれかにつこ！献立の日でしたが、この日は今渡南小学校におきましてふれあい給食を実施しました。給食で使用しているネギや大豆、みそなどの食材の市内生産者やパンや麺等の主食業者の方々をお招きして、子供たちと一緒に給食を食べていただきました。食材を育てたり作ったりする上での喜びや苦労話を聞くことで、子供たちは地場産物への理解を深め、また給食に携わる方々への感謝の気持ちを持つことができたのではないかと思います。

2点目としまして、先ほど瀬川委員のほうからも御報告いただきましたけれども、学校給食センター運営委員会のほうを2月6日に開催させていただきました。

給食に使用する物資を納入する業者の次年度の登録に関しまして、計30者、30事業者の登録を承認していただきました。また、食材費の現状や市として物価高騰対策を継続していくこと、小学校給食費が無償化になること、給食残量調査の結果等について報告させていただきました。

給食センターのほうからは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** はい、ありがとうございます。  
各課からの報告等がありましたけれども、御質問、御意見等ございますでしょうか。  
よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

#### 委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** では、その他に御質問ないようですので、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題とします。

何かございますでしょうか。

よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

#### その他

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次にその他に行きます。  
次回の日程等です。
- **教育総務課長（下園芳明君）** 次回会議の日程についてですが、臨時会を3月3日火曜日午後1時45分からということですのでよろしく申し上げます。場所は教育長室になります。よろしく申し上げます。

その次の定例会ですが、3月27日金曜日の午後2時から市役所5階第1委員会室で行

いますので、よろしく申し上げます。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** それではよろしく願いをいたします。  
では、このまま続けさせていただきますので、よろしく願いをいたします。  
これより会議を非公開とします。

（以下非公開）

（以上非公開）

#### 閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上で全て終わりましたので、教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午後 3 時15分